

Japanese Utility-Model Publication No. Sho 62-21621

Date of publication: February 9, 1987

Applicant: Pioneer Co. Ltd.

Inventor: Sigeru Saito

Title of the utility model: mixer device

Claim:

A mixer device characterized by comprising a plurality of volumes for attenuating a plurality of audio signals; and  
a plurality of switches, each of which inverts a polarity of a fixed resistance terminal of each of the volumes,  
wherein even when sliders of the volumes are all moved in a same direction, audio signals can be attenuated or increased by use of the switches.

Brief Description of the Drawings:

FIG. 1 shows a panel face of a mixer actualizing a mixer device of the present utility model;

FIG. 2 shows an embodiment with regard to single line input of the mixer device of the present utility model;

FIG. 3 shows other embodiment of the present utility model; and

FIGS. 4 and 5 show a conventional mixer device.

Description of reference numerals:

2 ... slide volume

30a, 31a - 30d, 31d ... switch

C26833

# 公開実用 昭和62-21621

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

## ⑫ 公開実用新案公報(U) 昭62-21621

⑤ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和62年(1987)2月9日

H 03 G 3/02  
3/10

B-7827-5J  
D-7827-5J

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 ミキサー装置

⑯ 実 願 昭60-114275

⑰ 出 願 昭60(1985)7月25日

⑱ 考 案 者 齊 藤 茂 東京都大田区大森西4丁目15番5号 バイオニア株式会社  
大森工場内

⑲ 出 願 人 バイオニア株式会社 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

明 細 書

1. 考案の名称

ミキサー装置

2. 実用新案登録請求の範囲

複数のオーディオ信号を減衰させる複数のポリウムと、各ポリウムごとにこのポリウムの固定抵抗端子の極性を反転させる切換スイッチとを備え、前記ポリウムの摺動子の移動方向が同一でも前記切換えスイッチによって、オーディオ信号を減衰方向にも、増加方向にも変えられることを特徴としたミキサー装置。

3. 考案の詳細な説明

[技術分野]

本考案は複数の信号をミキシングするミキサー装置に関するものである。

[従来技術]

第4図、第5図に示す従来のもミキサー装置では、

複数の信号入力  $I N 1$  ,  $I N 2$  ... とその信号入力  
おのおのに対してスライドボリューム  $2 - a$  ,  $2 - b$  ...  
があり、そのスライドボリューム  $2 - a$  ,  $2 - b$  ... のノブ  $1 - a$  ,  $1 - b$  ... を摺動することによ  
って複数の入力信号の大きさを自由に変えて、ミ  
ックスし出力信号  $O V T 1$  ,  $O V T 2$  ... として出  
力する。

従来のもミキサー装置では、例えば入力  $I N 1$  を  
徐々に減衰させ、（以下フェードアウトという）  
同時に入力  $I N 2$  を徐々に増加させる（以下フェ  
ードインという）ような操作を行なった場合、第  
4 図におけるノブ  $1 - a$  を上から下、ノブ  $1 - b$  を下  
から上に動かさなければならない為に、両手を用  
いての操作が必要となる。また、入力  $I N 1$  ,  $I$   
 $N 3$  をフェードアウト、入力  $I N 2$  ,  $I N 4$  をフ  
ェードインするような時は 1 人では操作不可能で  
ある。

#### [ 目的 ]

本考案は、かかる従来の装置が持つ欠点を除去

し、片手にてフュードイン、フュードアウトを同時に行なえるミキサー装置を提供することを目的とする。

〔実施例〕

第1図、第2図に示す本考案の実施例において、スライドボリューム2の両端に連動する2つの極性反転スイッチ30、31が設けられており、スイッチ30の一方のA側固定抵抗端子（可動接点）およびスイッチ31の一方のB側固定抵抗端子はそれぞれ入力信号INに接続され、他方の各固定抵抗端子は開放となっている。またスイッチ30の一方のB側固定抵抗端子およびスイッチ31の一方のA側固定抵抗端子はそれぞれアースに接続され、他方の各固定抵抗端子は開放となっている。スイッチ30、31の各固定接点はそれぞれスライドボリューム2の両端子間に接続され、スライドボリュームの摺動子から出力信号を得る。図のポジションAにおいて、ミキシング用スライドボリュームは下→上へ操作することによりライン入力

信号は増加し出力される。同様にBポジションでは、ミキシング用スライドボリュームは上→上へ操作することによりライン入力信号は減少されてゆく。

例えば、入力IN1、IN3の入力信号を徐々に減少させ、入力IN2、IN4の入力信号を徐々に増加させる場合、入力IN1、IN3の極性切換スイッチ30a、31a、30c、31cはBポジションにし、入力IN2、IN4の切換スイッチ30b、31b、30d、31dをAポジションにする。そして入力IN1～IN4のスライドボリューム2-a～2-dを徐々に下→上の同一方向に操作することにより希望のミキシングができる。

尚、4a～4dはそれぞれ切換スイッチ30a、31a～30d、31dに連動した極性表示を表示するインジケータである。

第3図は、本考案の他の実施例をなし、各ノブ1-a～1-dに連動バー5を装着することにより、各ノブ1-a～1-dを同時に操作することができる。

〔効果〕

以上のように、本考案によれば、従来のフェードイン、フェードアウトを片手ではMINからMAXへ、もう一方ではMAXからMINへ異なった操作を行なわなければならなかったが、フェードイン、フェードアウトを同一方向の動作で行なうことができる。

4. 図面の簡単な説明

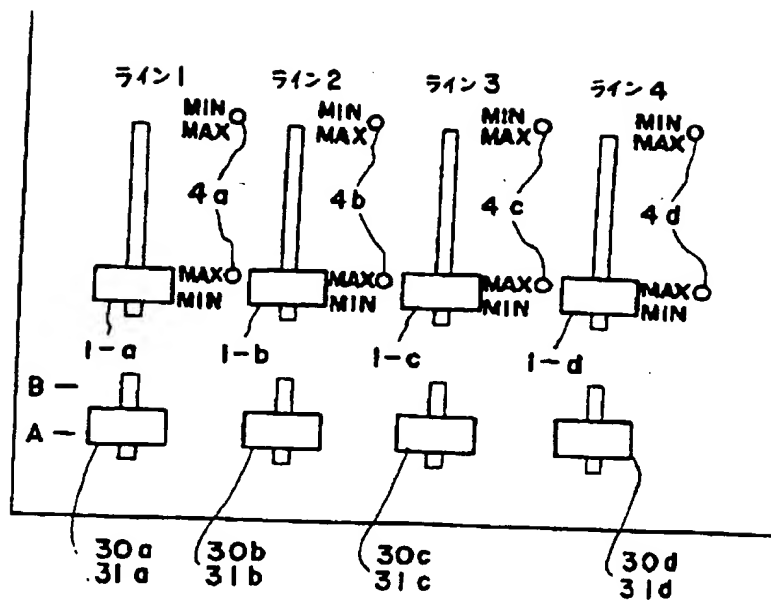
第1図は本考案に係るミキサー装置を実施した時のミキサーのパネル面を示す図、第2図は本考案に係るミキサー装置の1本のライン入力に対する実施例を示す、第3図は本考案の他の実施例を示す図、第4図、第5図はそれぞれ従来のミキサー装置を示す図である。

2 …… スライドボリューム

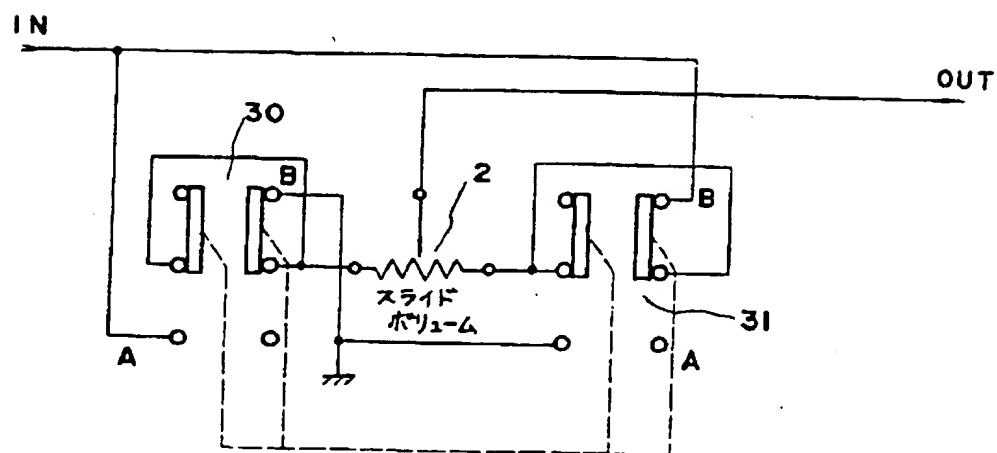
30a, 31a ~ 30d, 31d

…… 切換スイッチ

# 第 1 図



# 第 2 図



171

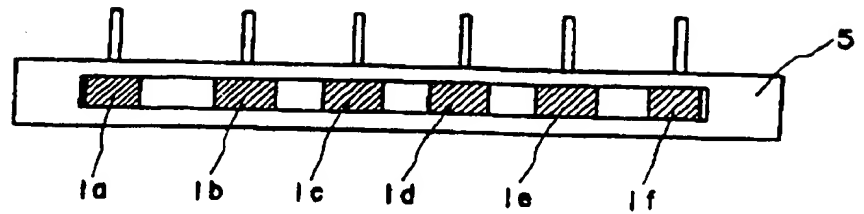
実開62-2162

実用新案登録出願人

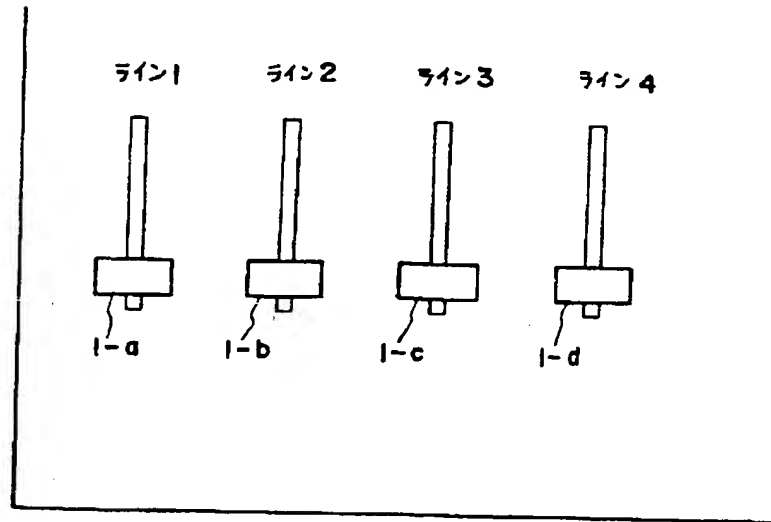
パイオニア株式会社



第 3 図



第 4 図



第 5 図

